生産性向上人材育成支援センターのご案内

福島職業能力開発促進センター

福島職業能力開発促進センター
いわき訓練センター

福島職業能力開発促進センター
会津訓練センター

可能性がひろがる職場へ

人手不足の深刻化や技術革新の進展の中で、企業の皆様が事業展開を図っていくためには、従業員を育成することにより、企業が生み出す付加価値（労働生産性）を高めていくことが必要となっています。

生産性向上人材育成支援センターは、従業員に対する多様な職業訓練の実施などを通じて、企業の皆様の生産性向上を支援しています。

らしく、はたらく、ともに

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 福島支部
Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers Fukushima Branch

（2025.04）

生産性向上人材育成支援センターが
企業の人材育成をサポートします!!

高齢・障害・求職者雇用支援機構は「誰もが職業をとおして社会参加できる共生社会」を目指し、高齢者や障害者、求職者等の方々に対する様々な雇用支援施策を国に代わって実施する厚生労働省所管の独立行政法人です。

当機構では、全国の公共職業能力開発施設（ポリテクセンター･ポリテクカレッジ等）に「生産性向上人材育成支援センター」（生産性センター）を設置し、企業の人材育成に関する相談支援から、課題に合わせた人材育成プランの提案、職業訓練の実施まで、企業の人材育成を総合的にサポートします。

人材育成に関する相談
センター担当者が企業を訪問し､人材育成に関する課題や方策を整理します

人材育成プランの提案
企業の課題に合わせて最適な人材育成プランをご提案します

訓練の実施
設定した人材育成プランをもとに、訓練等を実施して､企業の人材育成を支援します

在職者訓練（能力開発セミナー）

設計・開発、加工・組立、工事・施工、設備保全など“ものづくり分野”における、「技能・技術の向上」や「新たな製品づくり」といった生産現場の課題を解決するための実習を中心とした職業訓練です。DX（デジタルトランスフォーメーション）につながるデジタル技術に対応した訓練やGX（グリーントランスフォーメーション）につながる環境・エネルギー分野に関連する技術に対応した訓練も実施しています。地域のニーズを踏まえた訓練コースを設定するとともに、個別企業等のオーダーに応じた訓練コースにも対応し、機構の職業訓練指導員等が訓練を実施します。

▲ 難削材の切削加工実習

▲３次元ＣＡＤを活用した機械設計実習

▲小型ロボットアームの制御実習

▲ 木造軸組工法による建物組立の実習

(１) 訓練実施場所
全国のポリテクセンター、ポリテクカレッジの実習場 など

(２) 訓練時間数
12時間～30時間

(３) 受　講　料(１人あたり平均)
7,000円から30,000円程度
※平均13,000円程度，訓練内容や使用機材等により変動

(４) 主な訓練分野
【機械系】 機械設計/加工、溶接加工　など
【電気・電子系】 電気設備保全、 電子回路設計　など
【居住系】 建築設計･製図 、建築施工、建築設備工事　など

「ハロートレーニング－急がば学べ－」とは、新たなスキルアップにチャレンジするすべてのみなさんをサポートする公的職業訓練の愛称とキャッチフレーズです。

ハロートレーニング 急がば学べ

「従業員が身に付けるべき能力についての整理にも取り組みたい」といった場合には…
機構が業種ごとに整備している「職業能力の体系」モデルデータを活用し、各企業の仕事・作業に必要な知識や技能・技術の見える化等をサポートします。

information

指導員の派遣/施設設備の貸出

「研修したいが講師がいない」「研修したいが機械を止められない」「研修場所がない」といった企業の要望に応じて、機構の職業訓練指導員（テクノインストラクター）を企業に派遣することや、ポリテクセンター等の施設・設備（実習場や訓練用機器等）の貸出しを行なっています。

人材開発支援助成金

生産性センターが実施する職業訓練を従業員に受講させた事業主の方は、人材開発支援助成金を利用して、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等の助成を受けることができます。

助成金の利用に当たっては、訓練対象者と訓練内容の関連が認められること、10時間以上の訓練であることなど一定の条件がありますので、詳しくは各都道府県の労働局にお問い合わせいただくか、厚生労働省ホームページをご確認ください。

（厚生労働省HPへ）

生産性向上支援訓練

生産管理、IoT・クラウド活用、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムにより、70歳までの就業機会の確保に向けた中高年齢層の従業員の育成や、ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の推進に資する人材の育成を支援するなど、中小企業等が生産性を向上させるために必要な知識・スキルを習得するための訓練です。

個別企業の課題に合わせてカリキュラムをカスタマイズする訓練コースや、地域のニーズを踏まえた訓練コースを設定し、専門的知見を有する民間機関等に委託して実施します。

（１）訓練実施場所
企業の自社会議室 など

（２）訓練時間数
6時間～30時間
（「IT業務改善」は、4時間～30時間）

（３）受講料（１人あたり・税込）
3,300円～6,600円
（「IT業務改善」は、2,200円～4,400円）

（４）主な訓練分野・コース

生産・業務プロセスの改善
工程管理のポイントや見直し及び改善を行う際の課題とその解決方法など、生産管理や生産現場の業務プロセスの改善に必要となる知識や手法の習得を主な目的としています。

横断的課題
既存の業務の効率化や業務の改善、あるいは70歳以上の就業機会の確保に向けて中高年齢者の役割の変化への対応やノウハウ継承に必要となる知識や手法の習得を主な目的としています。

売上げ増加
マーケティングや広報戦略、新商品の企画・開発やサービスの高付加価値化を実現するために必要となる知識や手法の取得を主な目的としています。

IT業務改善
生産性を向上させるための手段としてITを利活用する上で必要となるネットワーク、データ活用、情報発信、情報倫理・セキュリティに関する知識・手法の習得を主な目的としています。

・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。
・ＲＰＡを活用して業務を自動化したい。
・テレワークを導入し業務を効率化したい。

・従業員の仕事の効率化を促進したい。
・リスクを低減させる方法を学びたい。
・ベテラン従業員の技術を後輩に継承させたい。

・顧客満足度の向上を図りたい。
・消費者の動向を営業に活用したい。
・インターネットを活用して販売促進を図りたい。

・データ集計の作業を効率化したい。
・マクロを使って定型業務を自動化したい
・集客につながるHPを作成したい

【生産・業務プロセスの改善】
・生産現場の問題解決
・ＲＰＡ活用
・テレワークを活用した業務効率化　など

【横断的課題】
・組織力強化のための管理
・後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割
・効果的なOJTを実施するための指導法　など

【売上げ増加】
・マーケティング志向の営業活動の分析と改善
・提案型営業実践
・オンライン営業技術　など

【ＩＴ業務改善】
・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
・集客につなげるホームページ作成
・テレワークに対応したセキュリティ対策　など

「まずは試しに１～２名の従業員に訓練を受けさせたい」といった場合には…
広く受講者を募集して実施する公開型の訓練も実施しています。他社の従業員と一緒にグループワークなどを行うことで、自社の強みや課題の気づきにつながります。

人材のマッチング

ポリテクセンターでは、離職者向け職業訓練を実施しており、受講者の求職情報を企業に提供し人材を採用したい企業とのマッチングを支援しています。

また、ポリテクカレッジでは、高校卒業者等を対象に、ものづくりに関する高度な実践技能者の養成を行っています。

DX人材育成の支援

生産性センターでは、「中小企業等ＤＸ人材育成支援コーナー」を設置し、企業の皆様からの「デジタル対応に係る人材育成の悩み」に関するご相談を受け付けています。

また、在職者訓練・生産性向上支援訓練ではＤＸに対応した訓練コースを整備し、中小企業・事業主団体等のＤＸ人材の育成を支援しています。

利用者の声

在職者訓練

顧客満足度 99.5%（受講者）、96.0%（事業主）

（顧客満足度は福島県３センター令和４年度調査から）

在職技術・技能者のスキル向上を目的とした在職者訓練（能力開発セミナー）をご利用いただいた受講者と事業主にお聞きした役立ち度を示しております。訓練カリキュラムは学科と実習をセットにし、仕事に役立つことを目的としています。利用者からのご意見の一部です。

＊今後も技術・知識力アップのツールとして、能力開発セミナーを活用して行きたいと考えています。

＊実習設備も整っており、講師の方もペース配分を考えてくれました。セミナーで習得した技術は、現在の仕事に応用し、役立てています。

生産性訓練

顧客満足度 99.４%（受講者）、93.2%（事業主）

（顧客満足度は福島県３センター令和５年度調査から）

ソマ株式会社　様

解決手法を習得し、課題解決へ！

■「生産性向上のための課題とラインバランシング」コースを受講

・事業主の声

当社の社員は、ものづくりに関する基本的な知識・考え方に「バラツキ」があり、問題が発生した時、「解決手法」の知識不足が、当社（社員）の課題の一つでした。

その課題を解決するために、訓練を通して手法を習得し、分析から改善に至るまで全社員が知識として身に付けて、情報の共有化を図りたいと考えていました。

訓練を利用して、当社の課題を解決できたことに加え、報連相をはじめ社内でのコミュニケーションに関して、基本を学べたことも大変良かったと感じています。

また、当社では従前から取組んでいた「業務改善プロジェクト」を行う上でも、訓練で習得した知識は、プロジェクトを進行する上でも大変参考になり、結果的に生産性向上に繋がっております。又、生産工程をマニュアル化する際には、訓練で習得した知識・手法を活用した結果、スケジュール管理の精度が向上したことも訓練による大きな成果でした。今後も訓練を繰り返し継続・実践して行く事によって、生産性向上に繋げて行きたいと考えています。

・受講者の声

訓練を受講して、ものづくりに関する基本的な知識を習得出来た事、複数回のグループワークで、製造部は勿論、他部署の抱えている問題点を共有出来た事は、非常に有意義でした。

今後は、実務においての業務効率化を図る事で、特に、資料と作成時の「ムダ」は、その都度見直し改善を試みます。これまで身に付けた知識・技術に加え、業務で使用しているシステム、会計ソフトの知識やパソコンスキルを更に向上させて行きたいと考えています。

access

福島職業能力開発促進センター（愛称：ポリテクセンター福島）
生産性向上人材育成支援センター（生産性センター）
〒960-8054　福島市三河北町７－１４
TEL 024-534-3661　FAX 024-533-6610

福島職業能力開発促進センターいわき訓練センター（愛称：ポリテクセンターいわき）
生産性向上人材育成支援センター（生産性センター）
〒973-8403　いわき市内郷綴町舟場１－１
TEL 0246-26-1231　FAX 0246-26-1237

福島職業能力開発促進センター会津訓練センター（愛称：ポリテクセンター会津）
生産性向上人材育成支援センター（生産性センター）
〒965-0858　会津若松市神指町大字南四合字深川西２９２
TEL 0242-26-0520　FAX 0242-26-1585

ハロートレーニング 急がば学べ

「ハロートレーニング－急がば学べ－」とは、新たなスキルアップにチャレンジするすべてのみなさんをサポートする公的職業訓練の愛称とキャッチフレーズです。